

2017 年度の取組み

「平成 29 年度かながわボランティア活動基金 21 協働事業負担金対象事業」

事業名	「食」と「地域」をつなぎ神奈川から貧困をなくすための K-Model 構築事業
団体名	特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川
県協働部署名	県民局次世代育成部子ども支援課 県民局次世代育成部子ども家庭課 保健福祉局福祉部生活援護課 県土整備局建築住宅部住宅計画課
事業期間	平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

1 個別事業ごとの進捗状況

事業 1	多機関連携による K-Model 推進事業
(1) 目標	生活困窮者等支援と食品ロスを改善するため「食」と「地域」をつなげるネットワークをつくり、食品と人とをつなげ、持続可能な食品循環のビジネスモデルを構築する。
(2) 実績	<p>◆多機関連携ネットワークづくりのための説明の実施</p> <p>(1) 企業、団体などへ取組み説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ 200 団体（個人含む）へ説明。97 団体と関係性ができた。</li> <li>和菓子メーカー、冷凍倉庫会社、電気会社、食品製造会社、自動車会社、県内の高校や大学、高齢者交流サロンなど。</li> <li>空き家を活用した K-Model 実践の取組みが、任意団体「かながわボランティアネットワーク」の 2017 年度事業計画に方針化。</li> <li>事業 2 のフードバンク支援事業を担う人材の発掘。</li> </ul> <p>(2) 協働部署関連会議での説明の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ 8 回、会議関係者など出席者 748 名に説明。</li> <li>会議出席者がシングルマザー支援企画を該当者に連絡し紹介により、2 件の参加につながりました。</li> <li>会議出席者より、別の会議やシンポジウムなどでの説明要望 2 件あり。参加者があらたな説明の場を提供くださる流れに発展。茅ヶ崎市都市部都市政策課より講演依頼。2 月 18 日茅ヶ崎市主催の空き家活用講演会にて事例報告。さらにシンポジウム参加者より当法人に相談 7 件あり。</li> <li>シングルマザー企画や子ども食堂支援など、子ども支援の取り組みについて、協働部署や県民より注目いただき、子ども支援課「かながわ子どものみらい応援団」のイベントで、相談窓口を設置し 8 件の問合せあり。また県民 1 名・企業 2 社から電話の問合せに対しつないでいただき、当法人で協力。現在も 2 件進行中。</li> </ul> <p>(3) 基金 21 関連団体とのネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク」に正会員登録。情報交換・事業連携を適宜実施。5 月にフードバンクと支援団体との意見交換会を共催で開催する。課題共有から実働レベルで連携が進みました。</li> <li>NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわと共同開催。ひきこもりの若者支援企画実施（9 月開始。毎月 3 回開催・茅ヶ崎市内）結果、1 名が就労。</li> <li>同法人と、若者支援カフェを実施。神奈川県立茅ヶ崎市高校の定時制教諭と連携し 11 月より月 1 回実施。定期的に先生・生徒が参加。若者支援を趣旨とした絵画展（3/14 来場 22 名）にもつながり、支援したい方と高校生や若者の居場所が形成されています。同時に防災備蓄品や缶詰など、必要としている高校生に配布も実施。</li> </ul> <p>(4) 広報活動（K-Model 紹介パンフレット）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1,500 枚を配付。講演会・イベント・営業活動時など各所で配付。</li> <li>K-Model 説明資料として、協力していただきたい企業や団体。取組み</li> </ul>

	<p>に関心がある方へパンフレットを配付。食品ロスと生活困窮者支援を結びつけ多機関で連携して取組む説明資料とし理解が促進された。新規活動会員 18 件の獲得につながりました。</p> <p>◆「食品ロス」削減の働きかけ・啓発活動の実施：約 150 家族。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9 月、12 月、2018 年 3 月の 3 回、イベント参加の地域住民へ広報実施。450 家族、987 名に広報。もったいない宣言や工夫の書き出しを実施し、食品ロス削減の啓発活動、及びフードドライブ実施。同企画にて「食べきり協力店」紹介で関係がある川崎市環境局より配付を依頼された市民向けチラシを配布。川崎市と広報部分で連携した。また、川崎市の「食べきり協力店」の取組みに、当法人会員でカフェを運営している方を紹介。現在、当法人紹介で 3 件加入。</li> </ul> <p>◆11 月 13 日映画「もったいない！」映画上映と多機関連携交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・65 名参加。K-Model の説明、取組み紹介を実施。交流会にて、子ども食堂を実施したい方、余剰食品の提供先に困っている方、計 3 組相談実施し活動につなげました。</li> </ul> <p>◆食品ロス活用のネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存が短い生鮮食品などの食品ロスの活用の実績から、一般社団法人シュフレ協会が横浜市港北区、川崎市宮前区・高津区などエリアを限定して、主旨を理解してくれた団体や支援したい個人向けに登録して、短期間で食品ロスが活用できるネットワークの準備をすすめています。モデル地区としてすすめ、順次エリアを広げていきます。</li> </ul>
--	--

事業 2	地域 FB 等支援事業
(1) 目標	<p>企業が安心して地域 FB や子ども食堂に食品を提供できるように周知を図るとともに、地域 FB 等の運営に必要な情報提供を行う。</p> <p>[成果] 神奈川県内各地に FB や子ども食堂が立ち上がり、生活困窮者等に緊急食品提供ができる。</p>
(2) 実績	<p>◆地域 FB や子ども食堂など興味がある方に対する学習会の実施</p> <p>①6 月 26 日、横浜市内子ども食堂立上げの学習会 (25 名)。</p> <p>②空き家活用プラン提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 月 19 日、かながわフロンティアネットワークメンバーによる、横浜横浜市内の空き家活用検討と現地視察会 (10 名)。</li> <li>・相模原市内団地の空きスペース活用プランを神奈川県住宅供給公社に提案。視察の受入れ (5 名)。</li> <li>・空き家活用プロジェクトキックオフイベント「古民家再生でつながる人と地域」開催協力、当日コーディネーター役としてパネルディスカッションを実施。(7 月 29 日 40 名)。</li> <li>・空き家を活用したカフェ実践者 (当法人会員) に運用方法の提案 (FB 機能・シングルマザー支援など)。港北区内にて 9 月 7 日オープン。</li> <li>・9 月 21 日、子ども食堂運営者やボランティアの交流会の打合せを行い、11 月 16 日開催予定。</li> <li>・11 月 16 日、子ども食堂新規立上げを希望している海老名の団体と、横浜南区の 2 団体に対し、立上げ説明。</li> <li>・12 月 1 日、セカンドリーグ神奈川の活動概要と地域課題解決 K-Model の取組みについて」をテーマに新大阪で講演。</li> <li>・2 月 18 日 茅ヶ崎市空き家利活用のシンポジウムで活用事例として登壇。その後、7 件の相談対応 (個人 5 名、団体 2 団体)。</li> <li>・3 月 1 日、古民家カフェ &amp; バルボンラヴィにて、空き家活用と食品ロスについての学習会を開催、19 名応募、17 名が参加。それぞれの持つ専門性も活かし、空き家や食品ロスについて状況を学び、資源を生かす取組みを連携して実施。</li> <li>・3 月 12 日、金沢で開催されたスマートウェルネス住宅等推進事業の説明会に参加し、空き家活用のための補助事業の情報収集と、コープいしかわとのまちづくり懇談会に参加しました。</li> </ul>

	<p>◆地域FBや子ども食堂へ食品配付の情報提供</p> <p>①生活困窮者支援団体や子ども食堂等へ食品提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和菓子メーカーの冷凍和菓子 8,020 個引き取り支援。地域支援団体、児童養護施設、外国人支援団体、子ども食堂など 35 箇所に和菓子提供実施。</li> <li>・ゼリーレトルト食品 1 ケース・ホットケーキミックス 5 ケース、調味料等、フードバンク横浜へ提供。</li> <li>・「めさみーるプラス」へ食品支援を継続で実施。他、単発で子ども食堂などへ食品の提供実施。</li> <li>・子ども支援課ポータルサイト「カナ・カモミール」にて、シングルマザー支援企画を広報した他、子ども食堂を始めたい方への問合せ先として、当団体の案内を掲載。</li> <li>・3 月青空マーケットにて売れ残りの産直野菜を食品配布協力する子育て支援団体シュフレ協会を通じて、3 団体、41 個人にお届けいただきました。今後横浜市港北区、川崎市高津区、中原区、宮前区を中心に、食品利用のネットワークをつくり、主にロスとなる食品の活用を登録いただくことで、利用できる仕組みづくりを検討しています。登録できる団体、個人については、シュフレ協会と共有し、食品支援を必要としている方へ利用できるようにすすめます。</li> </ul>
--	--

事業 3	FB 立上げ支援事業
(1) 目標	生活困窮者等支援やひとり親家庭等へ緊急的に食品支援を行うFBが安定的に運営し、さらに社会資源としての役割を果たせるようFBの立上げ支援を行う。
(2) 実績	<p>◆フードバンク支援</p> <p>①フードバンク横浜運営支援（確認書の締結支援：9 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品受け渡しに関する責任の範囲やかかわり方について確認し、信頼していただけよう当法人が仲介役として同行しました。結果、食品の提供団体と、NPO 法人フードバンク横浜、当法人 3 者による「食糧等の引取りについての確認書」は、老人ホーム・和菓子メーカー・洋菓子メーカー・電球製造会社・制御機器等商社・半導体製造会社・コンビニエンスストア・ラーメンチェーン・かながわ県民活動サポートセンターと締結することができました。</li> <li>・冷凍和菓子 8,020 個、ゼリー4,000 個の引き取りの全面支援。保管場所・配送・配付先について調整。</li> <li>・6 月 18 日、ふぁみりーフェス（不登校の支援を行っている団体が主催。海老名市内。）にて、700 名の来場者フードバンク横浜の取組みについて広報を行うことでの支援。奨学米の募金活動実施。</li> <li>・一蘭のゆで肉の受取り、配布相談から、定期的引取り方法の提案を行いました。現在月一回、一蘭の日を決めて必要な団体にお知らせしています。これまで 140 パック受け取りました。</li> <li>・過剰在庫の杏仁豆腐の処分相談で、1,440 個引取り各団体へ配布しました。</li> <li>・シングルマザー応援企画（8 月より毎月実施計 8 回。延べ 96 組参加。）</li> <li>・8 月より、当法人主催で「がんばるママ応援イベント&amp;フードバンク横浜による食品支援」実施。県の協働部署や横浜市中区社協などのご協力を得て、広報を実施。当法人会員も運営協力し癒し体験コーナーなど実施、食品を受け取るだけでなく悩み相談や交流ができる場として参加者より好評いただきました。</li> <li>・9 月 25 日、横浜市内の高齢者交流サロン 5 周年記念式典へ孤食が多い高齢者へ交流時のお弁当をお配りし、当法人の K-Model の取り組みやフードバンク横浜の奨学米の取組み紹介を実施。この活動に賛同した方より募金 17,554 円の協力をいただきました。来場者は約 160 名。</li> </ul>

②三ツ沢風土生活感立上げ支援（空き家を活用したフードバンク）

- ・9月27日、フードバンク活動の拠点として設立準備会を開催しました。
- ・10月、活動開始しました。まずは、フードバンク横浜との連携で、食品の保管、仕分け場所、配送拠点としてすすめています。
- ・地元子ども食堂への食品支援を実施しました。
- ・2月、フードバンク活動の他、地域交流拠点、食品ロスや食品活用などの学習会の会場となりました。空き家を活用するために、清掃や整理術講座を開催し、実際に空き家を持つ方、空き家の維持管理を行う方が参加され、補完的な活動も行いました。

③フードバンク支援のための情報収集

- ・7月27日、セカンドハーベスト・ジャパン主催のフードバンク実務者会議に出席。セカンドハーベスト・ジャパンが食品を届けている支援団体のアンケート結果を共有し、支援のあり方について協議。
- ・当法人会員でフードバンク活動に興味を持つ方へ企画内容や連携先を提案中。

④フードバンクひらつか運営支援

- ・7月に設立された、フードバンクひらつかより運営の相談を2月いただき、個人運営から団体運営に移行するため、活動拠点として空き家の利用に応じています。
- ・またフードバンクひらつかに食品支援している会員のわたぼうしより、フードバンクや子ども食堂への食品支援活動を安定して行うための相談を頂き、わたぼうしの運営支援も行います。